

第三者検証報告書

本書に記載された国内連結会社を含む当社グループにおける2022年度温室効果ガス排出量の実績情報について独立した立場の外部第三者検証機関より検証を受けた結果、その算定値の妥当性について保証を取得しました。



温室効果ガス排出量 検証報告書

住友大阪セメント株式会社 御中

2023年8月21日
株式会社 日本環境認証機構
東京都港区赤坂 2-2-19

代表取締役社長 小野寺 浩幸

株式会社 日本環境認証機構（以下、「当社」）は、国内連結会社を含む住友大阪セメント株式会社（以下、「組織」）により報告された温室効果ガス排出量に対して検証を行った。

1. 検証の目的及び範囲

当社は、組織の統合報告書（以下、「報告書」という）に報告された2022年度（2022年4月1日から2023年3月31日まで）の温室効果ガス排出量情報について検証を行った。検証の目的は、報告情報の信頼性および正確性など、報告情報の信憑性を検証した結果についてその見解を述べることにある。

1) スコープ1及びスコープ2 温室効果ガス排出量

- ・組織の84拠点の事業活動に伴うエネルギー起源CO₂排出量
- ・組織の国内工場、鉱山34拠点の生産プロセスに伴う温室効果ガス排出量

組織内部での再検討結果及び当社の検証結果に基づき、組織は検証に供された「2022年度CO₂排出量」のデータの一部を修正した。温室効果ガス排出量を算定し、報告する責任は組織にあり、当社の責任は、独立の立場から組織によって算定された温室効果ガス排出量に対する意見を表明することにある。

2. 検証手続

当社は、ISO 14064-3:2019, Greenhouse gases – Part 3: Specification with guidance for the verification and validation of greenhouse gas statements に準拠して検証を行った。当社は、限定的保証の一環として以下の活動を行った。

- ・温室効果ガス排出量を特定し、算定する責任のある組織の関係者へのヒアリング又は書類による確認
- ・温室効果ガス排出量を決定するために用いられた情報（データ）に対し、算定基準の適用方法、データの測定方法、組織が採用した仮定、その基礎となるデータの評価、算定結果の公表における記載の検討
- ・温室効果ガス排出量の正確性を確認するための情報（データ）のサンプリングによる検証

3. 検証の結論

当社が実施した検証作業とプロセスによると、組織の温室効果ガス排出量情報が以下であることを示す証拠は見出されなかった。

- ・重要性において十分に正しいものではなく、組織のデータ及び情報を公正に表示していない。
- ・組織が定めた算定方法に従って作成されていない。

検証された温室効果ガス排出量

スコープ1：8,230千tCO₂e、スコープ2：195千tCO₂e

以上

【検証の独立性、客観性】 組織とJACO検証チームは、特定の利害関係がなく、独立した立場で検証を行いました。